

令和 7 年 9 月 3 日

広島県薬剤師会会長 様

広島県立総合精神保健福祉センター所長

〒731-4311 安芸郡坂町北新地 2-3-77  
地 域 支 援 課

令和 7 年度依存症対策支援者スキルアップ研修の開催について（通知）

県の精神保健福祉行政の推進については、日頃から御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、この研修会を別紙のとおり開催しますので、貴会の会員への周知について御配慮ください。

なお、参加希望がある場合は、申込期限までに広島県電子申請システム（QRコード又はURL）から申し込んでください。電子申請が難しい場合は、別紙参加申込書をメール又はFAXで提出してください。

電話 082-884-1051

FAX 082-885-3447

E-mail [shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp)

（担当者 上野）

**令和7年度 依存症対策研修事業開催要領**  
**(薬物依存症家族講座/支援者スキルアップ研修)**

**1 目的**

令和5年の大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部改正や、市販薬の若年者への購入制限を設けるなど、薬物乱用防止対策が加速している一方、薬物依存（乱用）の背景には、生きづらさや、孤独・孤立などの社会的不安があることが指摘される中、様々な薬物問題に悩む該当者やその家族からの相談は増加しており、医療、福祉、教育などの分野との連携支援がますます重要となる。今回は、依存症当事者の家族が、これらの実態や当事者が抱える課題を知り、回復に向けて必要な家族の対応等について理解を深める機会とする。

また、相談支援に携わる支援者についても、地域における依存症への対応力の向上を図るため、この研修を実施する。

**2 対象**

- (1) 薬物依存症家族教室参加者
- (2) 保健、医療、福祉、司法、警察、更生保護、教育等の機関で相談業務に従事する者

**3 内容等**

**(1) 薬物依存症家族講座**

各会場に集合し、10:00～12:00の間、講義と意見交換を実施する。

日時	対象	方法	場所	内容
令和7年 11月21日(金)	家族講座参加者(西部)	集合 (講師のみWEB)	広島県立総合精神保健福祉センター 研修室	① 講義 「薬物依存症の回復に必要なこと(仮題)」 ～近年の依存症の実態と課題～ 講師 埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也氏
① 10:00～11:30 ② 11:30～12:00	家族講座参加者(東部)	集合 (講師のみWEB)	広島県福山庁舎 第3庁舎5階 集団指導室	② 意見交換等

**(2) 支援者スキルアップ研修**

WEBで10:00～11:30の間、講義を聴講する。

日時	対象	方法等	場所	内容
令和7年 11月21日(金) 10:00～11:30	保健、医療、福祉、司法、警察、更生保護、教育等の機関で相談業務に従事する者	WEB (定員150名)	—	講義 「薬物依存症の回復に必要なこと(仮題)」 ～近年の依存症の実態と課題～ 講師 埼玉県立精神医療センター 副病院長 成瀬 暢也氏

**4 参加申込期限及び方法**

- (1) 家族は申込み不要とする。
- (2) 支援者は、令和7年11月7日(金)までに、電子申請システム([https://apply.e-tu.mo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=25434](https://apply.e-tu.mo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=25434))で申し込む。  
難しい場合は、参加申込書を当センターメール([shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp))に提出する。
- (3) 申込が定員を超えた場合は先着順を基本とし、参加をお断りする場合のみ参加申込者に当センターから連絡する。

**5 申込み・問合せ先**

県立総合精神保健福祉センター地域支援課

住 所 広島県安芸郡坂町北新地2-3-77

電 話 082-884-1051

E-mail [shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp)



令和7年度 地域依存症対策研修事業（家族講座/支援者スキルアップ研修）

11/21（金）

10：00

～

11：30

# 薬物依存症の回復に必要なこと

～近年の依存症の実態と課題～

若者を中心とした大麻使用の増加や市販薬の過剰摂取などの依存症問題が注目されている昨今、その背景には、生きづらさや孤独感などの社会的不安があると指摘されています。このような依存症当事者やその家族からの相談に対して、医療、司法、福祉、教育など、多分野での連携はますます重要となっています。この度は、依存症問題に取り組む支援者や家族が、現状や課題を理解し、適切な対応を行うための支援のあり方について研修会を開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。



講師 埼玉県立精神医療センター  
副病院長 成瀬 暢也 先生

## 【講師紹介】

順天堂大学医学部卒業後、同大精神神経科入局。平成2年に、埼玉県立精神保健総合センター開設と同時に勤務となり、平成7年から、同センター依存症病棟に配属。平成20年より現職。

埼玉医科大学客員教授、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所客員研究員、日本アルコール関連問題学会理事等としても活躍。

専門分野：薬物依存症・アルコール依存症、中毒性精神病の臨床

対 象：薬物依存症家族教室参加者

保健、医療、福祉、司法、警察、更生保護、教育等の機関で相談業務に従事する者（定員150名）

日 時：令和7年11月21日（金）午前10時～11時30分

（アクセス開始 午前9時30分～）

方 法：ZOOM

申込み：広島県電子申請システム（下記QRコードまたはURL）から申し込んでください。

（電子申請システムの利用が難しい場合は、別紙参加申込書をメールまたはFAXで提出してください。）

申込み締め切り 11月7日（金）

その他：薬物依存症家族教室参加者と支援者の合同研修会です。

## お問い合わせ

広島県立総合精神保健福祉センター 地域支援課 上野

電話：082-884-1051

FAX：082-885-3447

E-mail：[shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp)

申込みURL：[https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=25434](https://apply.e-tumo.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=25434)

（広島県電子申請システムにアクセスし、検索キーワード「薬物依存症の回復に必要なこと」からも申込みできます。）



申込み用QRコード

# 参加申込書

(11/21 地域依存症対策支援者スキルアップ研修)

送付先

FAX:082-885-3447

mail:shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp

宛先:県立総合精神保健福祉センター

地域支援課 上野 行

申込者氏名			
所属機関名			
連絡先	TEL	FAX	
	メールアドレス (受講用)		

①参加者氏名		職名	
		職種	

②参加者氏名		職名	
		職種	

③参加者氏名		職名	
		職種	

④参加者氏名		職名	
		職種	

申込書に記載された個人情報は、本研修会の運営のためにのみ使用します

申込期限

11月7日

(金)

【問い合わせ先】

広島県立総合精神保健福祉センター 地域支援課 上野

電話:082-884-1051

E-mail: [shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:shcchiiki@pref.hiroshima.lg.jp)